Кресту Твоему поклоняемся, Владыко, и святое воскресение Твое славим

原 平塚・修善寺・柏久保正教会だより
2018年9月1日発行　第193号

КРЕСТЪ
クレスト

2018年9月号

司祭 ディミトリイ 田中 仁一
〒250-0011 神奈川県小田原市栄町四丁目 4-1
TEL/FAX：0465-22-2792 携帯　070-5079-3408
E-mail:　holyspiritodawara@gmail.com
教団 HP: http://www.orthodoxjapan.jp/
小田原正教会 HP:　http://odawara-orthodox.com/
郵便振替口座(小田原):　00270-6-15226

親しみの献物、
讃め揚げの祭を

アナフォラの祈祷文より

ディスコスとポティールのモザイクイコン

幼子ハリストスのせたディスコス(聖盃)と神性を意味する青色を使ったポティール(聖爵)を美しい石で描いたこのモザイクのイコン。ハリストスは私たちにとってまさに「真の食べ物」「天から降った生ける パン」(ヨハネ 6:51-59)であり、その血は「真の飲み物」である。この意義を信者に伝えるために、このイコンが描かれている。この意義を信者に伝えるために、このイコンが描かれている。

●五旬祭後第14主日聖体礼儀（第5調）
9月2日（日）　10:00～　(9:30 痛悔)
使徒経:コリンフ後170端(1:21-2:4)福音経:マトフェイ89端(22:1-14)

●五旬祭後第16主日聖体礼儀（第7調）
9月16日（日）　10:00～　(9:30 痛悔)
使徒経:コリンフ後181端(6:1-10)福音経:マトフェイ105端(25:14-30)

●五旬祭後第17主日(生神女誕生祭祭期)聖体礼儀（第8調）
9月23日（日）　10:00～　(9:30 痛悔)
使徒経:コリンフ後182端(6:16-7:1)福音経:マトフェイ62端(15:21-28)

聖体礼儀解説(29)

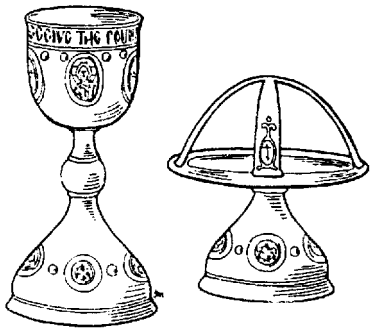
～聖なる献物～　その②

司祭が信者たちに向けて、安和のうちに「聖なる献物」の祈祷の始まりを告げると、信者たちは『親しみの献物』という言葉をもってこれに応えます。「平安のうちに、主と自らの兄弟姉妹への愛をもって聖なる献物を献げます」という意味です。「親しみ」とは、すなわち「愛」であり、それは親しみの「果実」なのです。克肖者聖ニコラス・カヴァシラスは、『*誘いによって心が乱されなければ、何人も心が親しみで満たされることを妨げたりはしない*』と言いました。

神は預言者ホセアを通じて、愛のない多大な犠牲よりも神と兄弟姉妹とへの愛に満ちた献物を好まれることを明言しています。また、聖大ヴァシリイは、『*燔祭と全燔祭に関する旧約の誡めには、すべて愛と憐みの誡めが含まれていることを忘れてはならない*』と指摘しています。つまり、神を讃美讃頌するには、まず私たちから神に愛の献物をしなければなりません。愛をこめて神に献げられる祭こそ、神に喜ばれる祭なのです。それは、神ご自身の人への愛を讃美讃頌する「讃め揚げの祭」なのです。

『聖歌を歌い、感謝の祭を献げ、業によって神を讃美するのは、それによってあなたの主が讃栄されるためである。ハリストスが「***爾等の光は人々の前に照るべし、彼等が爾等の善き行を見て、天に在す爾等の父を讃栄せん為なり」と教えているのは、まさにこのためである***』と、聖金ロイオアンは述べています。私たちの毎日の生活がこのようなものであれば、私たちの主・神は自ずと人々から讃美されます。

私たちの献物が神に喜ばれる全き祭であるために、私たちは次のような言葉をもって神の愛に応えるよう、聖大ヴァシリイは教えています。『*主よ、我衷心(ちゅうしん)より、我が霊の祭壇より爾に讃美を揚ぐ、我は爾の恩に報いんが為に讃揚の祭を行う、爾此れを幾千の燔祭より喜ばん。我爾完全なる神に讃揚の祭を行わん*』。



私たちが聖体礼儀において献げているのは、まちがいなく讃揚の祭です。私たちは、ハリストスを通じて、神に万物のために讃揚の祭を献げているのです。これは、聖金ロイオアンによれば、『*主の名を承け認める者の唇の実*』です。「聖なる献物」の祈祷において、私たち信者は、祈願と讃美と感謝を献げます。これらが、『唇の実』です。『主の名を承け認める』とは、一切のために、特に主が私たちの人々のために受けた苦しみのために、神に感謝することを意味しています。

神は私たちの讃揚の祭を喜ばれます。なぜなら、そこに人の救いの道があるからです。『讃美を献ずる者は我を恭まう、己の道を慎む者は、我彼に救いを顕わさん』(第四十九聖詠 23 節)。**主の尊体と尊血を受けることは、まさに神の救いと称するに相応しいものです。なぜなら、それは、私たちを罪から救うためのものだからです。聖体礼儀の中で、私たち信者は神に讃陽の祭を献げます。そして、神は私たちに彼の救いを顕してくれるのです。それが私たちの救主イイスス・ハリストスです。**

最近の出来事・消息

小田原　顕栄祭　8月18日(土)17時より顕栄祭前晩徹夜祷、19 日(日)10 時より、顕栄祭聖体礼儀が行われました。夏の輝かしい祭を多くの人で祝うことができました。それぞれ持ち寄った果物は聖体礼儀の最後に成聖され、皆で分け合いました。前晩徹夜祷で既に聖にされたスイカは教会の井戸水で冷やして、昼食の時間に戴きました。昨今の厳しい天候の中でこのように実り物が与えられたことを神に感謝せずにいられないと思う祭でした。

柏久保　２０１８年度信徒総会　8 月 11 日(土)18 時より信徒総会を行いました。司祭より過年度の活動が報告されました。新年度の活動については、出席者と相談しながら決められました。境内地の整備については、大掛かりにせず、できる範囲で信徒の手でやるという方針にしましたが、具体的な内容は集会の都度、話し合いの上、整備ができるよう準備します。

修善寺　台風１２号による被害　7 月 28 日に通過した台風により、聖堂の鐘楼にある窓のガラスが破損しました。イオアン山田亨執事長とティーホン野田和彦兄が、仮の処置として破損した箇所を養生しました。聖堂は県の指定文化財であるため、行政との手続きをはさみます。そのため、修理するまでにしばらく時間がかかります。

顕栄祭（堂祭）・２０１８年度信徒総会　8 月 12 日(日)10時より修善寺教会の堂祭である、顕栄祭を暦より1週間前倒しで行いました。冷房設備がない聖堂での長時間の祈祷は、酷暑を懸念していましたが、この日はこれまでと打って変わっての雷雨でした。祈祷中は雷の光と、停電によって暗くなった聖堂を照らすロウソクで、目を覆うほど輝く主とそれに驚く弟子たちを記憶する顕栄祭の出来事を少しだけ追体験するような時間でした。参祷者が持ち寄った果物は成聖され、信徒総会の前に皆で頂きました。信徒総会では過年度の活動報告と新年度の活動予定を司祭が報告、決算と予算が会計のティーホン野田和彦兄より報告されました。

平塚　次回の集会は9月1日(土)10時からです。重田仁兄・博兄宅にて秋の総パニヒダを行います。

永遠の記憶　**ゲオルギイ　藤平　信夫　兄（修善寺　８８歳）**　8 月 12 日(日)に永眠され、13 日(月)14 日(火)にセレモニーホールみしま平安会館にて前晩パニヒダおよび埋葬式が行われました。藤平兄は故イアコフ藤平新太郎　神父様のご長男です。永遠の記憶をお祈りいたします。

学びの会

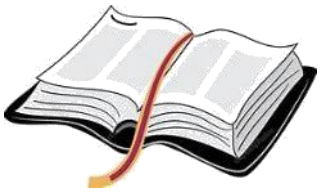
本年度も伝道会「公祈祷講話」を全 9 回の予定で行います。

本年度のテーマは、『**福音書の読みと解説**』です。映像を見ながら福音書を解説します。

小田原:9 月 1 日(日) 午後 1 時から

柏久保:9 月 7 日(金) 午後 6 時から

修善寺:9 月 8 日(土) 午後 5 時から



祈祷中に聖書が読まれる時、ストーリーを思い描きながら聴けるようになります。お気軽にご参加ください！

献金報告

8/20 現在　日付は会計処理日です。ありがとうございました。

日付	氏　　名	摘　　要
8/5	ミハイル 会見兄	パニヒダ献金
8/19	廣石 真太郎兄	パニヒダ献金
	村松 伸子姉	パニヒダ献金

日付	氏　　名	摘　　要
8/19	横溝　順子姉	感謝献金

婦人会献金：今月はありません。

人生のあらゆる節目に祝福を！

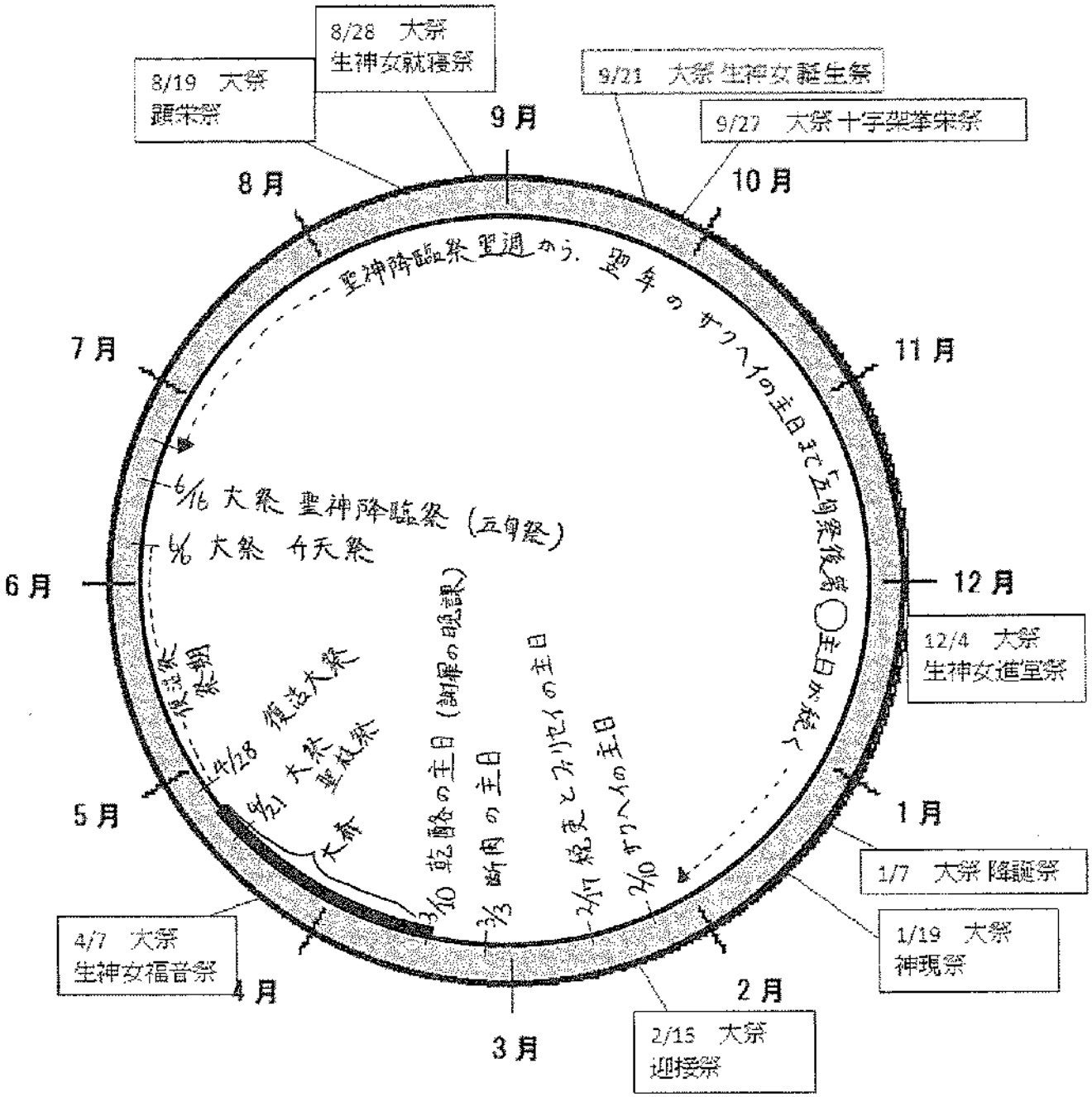
1. **お子様の成長に祝福がありますように**
2. **入学、新学期、就職、成人式、人生の大きな門出に**
3. **銀婚式、金婚式…お二人の生活への感謝と更なる祝福がありますように**
4. **病床で過ごす時に神様の豊かな恩寵が賜りますように**
5. **産前・産後のための祈祷**
6. **新たに購入した家屋や乗り物等の成聖**

また洗礼、記念祭など、教会はいつでもご質問をお待ちしています。管轄司祭、または各教会執事に遠慮なくご連絡ください。

携帯電話:070-5079-3408

メールアドレス:holyspiritodwara@gmail.com

教会の一年間のサイクル 2018 年-2019 年



●円の外の □ は毎年変わることのない暦の中の大祭です。（この表には中祭と聖人の記憶日は載っていません。）

●円の内側は、毎年の春分の日後最初の満月から割り出される復活祭を基準にした移動祭日（暦）です。

●毎年同じ日の大祭が９、毎年の復活祭によって日が移動する大祭が３、合計１２で**「十二大祭」**と呼ばれます。この中に復活祭は含みません。

【2018年9月】小田原・平塚ハリストス正教会月間活動予定表

日	曜日	祈祷・行事・集会	主日調/聖書の読み
1	土	**平塚信徒集会(10:00)　主日前晩禱(17:00)**	9/2　第5調 使徒経：コリ後1：21-2：4 福音経：マト2：1―14 ●婦人会昼食当番 皆で協力して行いましょう
2	日	**五旬祭後第10主日聖体礼儀(10:00)・公祈祷講話①**	
3	月		
4	火	[東京]	
5	水	[東京]	9/9　第6調 使徒経：コリ後4：6-15 福音経：マト22：35―46 ●婦人会昼食当番 昼食はありません
6	木	[東京]	
7	金	[伊豆:江間地区墓地祈祷　(午後)柏久保:公祈祷講話①]	
8	土	[柏久保:感謝祈祷　/(午後)修善寺:公祈祷講話①]	
9	日	五旬祭後第15主日代式祈祷(10:00) [修善寺:聖体礼儀・修善寺地区墓地祈祷]	
10	月	[伊豆:三島地区1 墓地祈祷]	
11	火	[東京]	
12	水	[東京]	9/16　第7調 使徒経：コリ後6：1―10 福音経：マト25：14―30 ●婦人会昼食当番 皆で協力して行いましょう ●糖飯当番:　山本園子姉
13	木	[東京・教区理事会 15:00]	
14	金	[東京]	
15	土	[伊豆:御殿場・裾野地区 墓地祈祷]	
16	日	**五旬祭後第16主日聖体礼儀聖体礼儀・月例パニヒダ・定例連絡会(10:00)**	
17	月	[誦経者研修会(前橋)]　敬老の日	
18	火		
19	水	[東京]	9/23　第8調 使徒経：コリ後6：16―7：1福音経：マト15：21―28 ●婦人会昼食当番 昼食はありません
20	木	[東京]	
21	金	[東京]　(十二大祭)生神女誕生祭	
22	土	[伊豆:三島地区2・沼津 地区 墓地祈祷]	
23	日	**五旬祭後第18主日聖体礼儀(10:00)**　秋分の日	
24	月	[修善寺:私祈祷(青山)]　振替休日	
25	火		
26	水	[東京]	9/30　第1調 使徒経：コリ後9：6―11 福音経：マト18：23―35 ●婦人会昼食当番 昼食はありません
27	木	[東京]　(十二大祭)聖十字架挙栄祭	
28	金	[東京:諸規則検討委員会]	
29	土	[東京]	
30	日	五旬祭後第18主日代式祈祷(10:00) [司祭:東京]	

＊[　　]内は司祭の活動　＊

＊聖体礼儀に参祷し領聖するときは、前日から十分に節制しましょう＊

＊ここには主日の聖書の読みが記載されています。お手持ちの聖書を読むときに活用して下さい。＊

9月の永眠者一覧(敬省略)

永眠日	聖名	氏名	永眠年	縁故者
１日	ニフォント	神谷　孝一	１９４３年	神谷　忠明
１日	アンナ	川﨑トシ子	２００６年	川﨑家
２日	ソフィヤ	阿久津 節子	１９３２年	阿久津 八重子
３日	ダリヤ	山本　ソメ	１９６６年	山本　やす江
４日	ペトル	日比野 徳蔵	１９６３年	日比野　正男
７日	アレキサンドル	百瀬	１９８４年	
７日	ウエラ	紺野　　信	１９７４年	紺野　雅章
８日	ソフィヤ	日比野 トシ	１９８２年	日比野家
１０日	ソフィヤ	澁谷　雪江	２０１４年	澁谷　道子
１３日	ステファン	廣石 太一郎	１９７７年	廣石　和子
１３日	リディヤ	石川　常子	２００７年	石田　浩一
１５日	パウエル	長澤 米次郎	１９５２年	
１４日	ペラギヤ	村松　志津	１９８７年	村松　伸子
１４日	シメオン	廣石　豊	２０１４年	廣石家
１６日	ティモン	假野　貞文	１９１２年	假野　美枝
１６日	ニキタ	青柳　　寛	１９８５年	横田　祥子
１６日	アキラ	神谷　忠	２０１４年	神谷　淳一
１８日	ニコライ	神谷 忠三郎	１９１７年	神谷　淳一
２０日	ワシリイ	荒井　友一	１９９５年	荒井　　譲
２２日	アキリナ	石井　モト	１９７８年	石井　愛子
２２日	マリナ	渡辺　房子	１８８８年	渡辺　　宏
２３日	マリヤ	廣石　ソノ	１９４８年	廣石　利恵
２３日	マルファ	小島　満寿	１９７１年	山口　　晃
２４日	ニコライ	松下	１９８６年	中島 八千代
２６日	ダヴィド	石川　亀雄	１９２９年	石田　浩一
２７日	ソフィヤ	日比野 サダ	１９０５年	日比野　勇
３０日	コノン	竹内　義吉	１９３５年	樋口家
３０日	シメオン	廣石　頼房	１９７７年	廣石　利恵
６日		中島　　昇	１９２１年	中島　八千代
２２日		百瀬　ツル	１９６９年	百瀬　　久
２７日		澁谷　芳雄	１９２２年	澁谷　道子
３０日		窪田　一郎	１９０２年	窪田　幸夫

今月は第３週日曜日に永眠者の記憶を祈る「パニヒダ」を行います。聖堂は皆さんのお祈りの場、そして皆さんの霊(たましい)が永遠に養われる場です。ローソクを灯して少しの間、ご家族のために祈りに来られるだけでも大変結構です。どうぞ遠慮なさらずお越しください。（月例パニヒダの日は必ず会報をご確認ください。）

ちょっとだけ

イコン学　～イコンの使用を理解するために～　③

7 世紀、アラビア半島のメッカで発生したイスラム教のインパクトはローマ帝国内にも及びました。イスラム教では旧約聖書の戒めにならい、神を絵に描くことは決して許されない、と教えています。これがキリスト教徒の間でも論争を招き、時の東ローマ皇帝は 726 年にイコン禁止令を発布、目につくイコンは悉く破壊されました。愛するイコンを守ろうとして致命した人も続出しました。聖像破壊運動（イコノクラスム）です。787 年 9 月、全地公会議が二ケアで開催され、集められた各地の主教品たちはイコンを次のように定義しました。

「目に見えない神が、私たちの為に人となって目に見える形をとられたのである。したがって描かれたその姿は人の想像に因るものではない。またイコンは崇拝の対象ではなく、崇拝されるのは神そのものである。」

これによってイコンは正当とされ、聖像破壊運動も一旦収束しました。正教会ではこの出来事を復活祭への準備期間（大斎）のはじめ、正教勝利の主日に記憶しています。このようにしてイコンは、公会議で採択された定義を保ちつつ、「人々が神に祈るための助け道具」として今日も存在しています。

次に、イコンの中に見られる神学的意味を一部紹介します。

図7

手に持つもの：十字架を持っていれば、その聖人は致命者であること示しています。図 7 は聖致命女パラスケヴァです。例えば巻物を持っていれば、その聖人が述べた重要な言葉が記されています。

図 8

図 9

手の形：手のひらをこちらに向けている聖人がいます。例えば図 8 の搭塔者（とうとうしゃ）聖シメオンは両手のひらをこちらに向けています。これは世の生活から自分の身を守っている身ぶりです。図 9 の聖ディミトリオスは片手のひらをこちらに向けています。これは悪の攻撃に対して「否」という毅然とした態度を示しています。

主ハリストスの服の色：ハリストスの内着は赤で描かれます。それは彼が完全な神であることを意味しています。一方、上着は青や緑で描かれます。それは彼が完全な人をまとったことを意味しています。（図 10）

生神女マリアの服の色：主ハリストスとは逆に、生神女マリアは内側に青い衣を着ています。それは彼女が人間だからです。赤い服を上から被っているのは、彼女が神ハリストスに人の性を与えたという意味です。（図 10）

これらはイコンに込められたメッセージのほんの一部です。イコンはシンボルです。芸術性を試すものではありません。ルネッサンス時代以降、教会にあるイコンを題材にしてアレンジした絵画（一例図 11）を口火に、芸術的アイデアを盛り込んだ絵画が、爆発的な人気を得ました。イコンにも若干の影響があったことは否めません。（続く）

図 10

図 11